



えのしろ

よっかいちしりつみえきたしやうがっこう
四日市市立三重北小学校

れいわ ねん がつ にちほつこう
令和4年11月10日発行

がっこうきやういくもくひやう
学校教育目標

こころゆたかにたくましく、ともに学び合う子どもの育成



今後の教育活動及び新型コロナウイルス感染対策

11月に入り、新型コロナウイルス感染者数が増加傾向にあります。今夏を上回る感染者が発生するともいわれている「第8波」、そしてインフルエンザとの同時流行が心配されるところです。

さて、学校においては、感染拡大の防止と学校教育活動の継続の両立に向けて、下記の通り、教育活動の再開及び、必要な感染対策、活動場所・活動場面に応じたメリハリのあるマスクの着脱の取組を進めていきます。ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

1. 教育活動

①音楽でリコーダー、鍵盤ハーモニカの指導を再開します。

(1)できる限り隣との距離をとります。

(2)換気を十分に行います。

(3)活動時間は、10分以内とします。

(4)活動後、アルコールで手指消毒をします。

②持久走記録会(12/2)の観覧人数の制限は行いません。

2. 感染対策

①体調不良の場合は、登校を控えてください。

・発熱、咽頭痛、咳、鼻水、頭痛等の普段と異なる症状がある場合。

・同居家族に症状がある場合も登校を控えてください。

②換気を徹底します。

・二酸化炭素濃度測定器を活用し、1,000ppm以下を維持します。

・教室の対面する2方向の窓を15cm程度あけます。(エアコン使用時も)

3. マスクの着脱^{ちやくだつ}

① 場面^{ばめん}に応^{おう}じて適切^{てきせつ}な着脱^{ちやくだつ}をします。

- ・十分な身体的距離^{じゅうがん しんたいてききより} (2m) が確保^{かくほ}できる場合^{ばあい}、マスク着用^{ちやくよう}の必要^{ひつよう}はありません。
- ・季節^{きせつ}を問^とわず、体育^{たいいく}の授業^{じゆぎょう}、休み時間^{やすみ じかん} (運動場^{うんどうじょう})、屋外^{おくがい}での活動^{かつどう}、登下校^{とうげこう}の際は、感染対策^{かんせんたいさくじょう}上の工夫^{くふう}や配慮^{はいりよ}を行^{おこな}いながら、マスクを外^{はず}すよう指導^{しどう}します。
- ・教職員^{きょうしよくいん}が率先^{そつせん}して外^{はず}します。

(例) ・児童^{じどう}と2m以上離れた場所^{いじょうはな}から指導^{ほしよ}する場面^{しどう}。(集会等^{ぼめん しゅうかいどう})

・教職員^{きょうしよくいん}・児童^{じどう}ともに発語^{はつご}のない場面^{ぼめん}。(テスト、朝の読書等^{あさ どくしょどう})

- ・行事^{ぎょうじ}や授業内容^{じゆぎょうないよう}に合わせたメリハリのある着脱^{ちやくだつ}を指導^{しどう}します。

② 着脱^{ちやくだつ}できない児童^{じどう}への配慮^{はいりよ}

- ・児童本人^{じどうほんにん}の意^いに反^{はん}して、マスクの着脱^{ちやくだつ}を無理強^{むりじ}いすることはありません。
- ・マスクの着用^{ちやくよう}の有無^{うむ}で、誹謗中傷^{ひぼうちゅうしょう}がされないよう配慮^{はいりよ}していきます。

マスクの着用^{ちやくよう}については、飛沫抑制^{ひまつよくせい}の効果^{こうか}があり、感染防止^{かんせんぼうし}につながるというメリットがある一方で、

① マスク内の酸素不足^{さんそぶそく}による頭痛^{ずつう}や集中力^{しゅうちゅうりよく}への影響^{えいきょう}。

② 表情^{ひょうじょう}が見えなくなり、感情^{かんじょう}が伝わりにくくなる。

というデメリットがあるとも言われています。

このようなことから、アフターコロナを見据え、今後は政府の指針^{こんご せいふ ししん}に沿った形^{かたち}で場面^{ぼめん}に応^{おう}じた適切^{てきせつ}な着脱^{ちやくだつ}をしていくことが大切^{たいせつ}だと考えています。

学校^{がっこう}では、場面^{ばめん}によって子ども達^{こ たち}にマスクを外^{はず}すように話^{はなし}をしていますが、外^{はず}すことができない子ども達^{こ たち}もいます。もちろん無理強^{むりじ}いをするものではありませんが、マスクのメリット・デメリット等^{とう}、是非^{ぜ ひ}この機会^{きかい}に、ご家庭^{かてい}でお子さん^こと話^{はなし}をしてみてください。

マスクの着用について

マスクについては、**場面に応じた適切な着脱**をお願いします。

屋外

季節を問わず、**マスク着用は原則不要**です。



人との距離(めやす2m)が保てず、会話をする場合は着用をお願いします。



徒歩や自転車での通勤・通学など、人とすれ違う時も不要



距離を保って、会話をする際はマスクは不要

屋内

距離が確保でき会話をほとんど行わない場合をのぞき、**マスクの着用をお願いします。**



マスク着用推奨



十分な換気など感染防止対策を講じている場合は外すことも可

マスク着用推奨



距離が確保できず、会話をする時は着用



人との距離(めやす2m)が保てて、会話をほとんど行わない場合は着用の必要ありません。

基本的な感染対策はメリハリをつけましょう。
高齢の方に会う時、病院に行く時、通勤ラッシュ時や人混みの中ではマスクを着用しましょう。

